

SAWAYAKA

さわやか

厳しい農環境の中で、「命の糧を守る」努力がこの夕映えのように輝き続けてほしいとの思いで撮ったものです。



「暮色」

特集

「人・農地プラン」取組み集落より …p2～p3

農業委員視察研修・つぶやき「還暦」 …… p 4～5

各部会活動状況・花いちもんめ「四季の歌に寄せて」 …… p 6

平成25年度新発田市の農地賃借料情報 …… p 7

おらごの紹介「紫雲寺地区」・INFORMATION・編集後記 …… p 8

2013.

2月号

特集

「人・農地プラン」 策定始まる!!

23年度から農林水産省は、「人・農地プラン」をスタートさせました。地域の高齢化、担い手不足により、将来の農地利用が心配されるためです。「人・農地プラン」の策定は、集落・地域での話し合いが基本で、5年後、10年後の農地利用について取り決めるものです。

新発田市においても4月～12月までに、4集落（うち2集落で1地域）で策定を完了しています。

そうです。その中でも農地利用図を作成するに当たり、場所や地番、面積の確認作業は細かな圃場が多く、特に苦勞したそうです。JA等関係機関の協力を得て、無事に申請を行い、新発田市第1号の「人・農地プラン」の承認を得ることができたそうです。

（大沼敦志委員）

米倉・大槻地域

新発田市米倉地区では、平成15年に圃場整備事業（経営体育成基盤整備事業）の事業採択を受け、それに伴い地域農業の中心的役割の担い手へ農地利用集積を進めてきました。当該地域にある組織を中心に隣接する大槻集落の農家も含めて農地集積を進めている中で平成23年度から国の指導する「人・農地プラン」

今後、「人・農地プラン」策定検討中の集落・地域の参考にねばと、下山田集落（加治川地区）、米倉・大槻地域（五十公野地区）の事例を紹介します。

各地区の取組み

下山田地区

加治川地区の山沿いにある下山田集落は、いち早く「人・農地プラン」に取り組み平成24年度新発田市で最初に承認を得た集落です。そこで、どの様な思いから「人・農地プラン」に取り組んだのか集落の方にお話しを伺いました。

以前は集落の殆んどが農家でしたが、現在は約6割が離農、今後も高齢化や基盤整備が完了

した等に伴い、離農の増加が予想されます。このような状態の中、できれば受託者については、集落内の農家が望ましいが、集落内の大規模農家は現状で手いっぱい状態です。また、他の農家も受託は難しく、集落営農組織の設立も困難であり、集落外の農家（近隣集落）に依存せざるを得ない状況となっています。

「人・農地プラン」に取り組むことによって他市町村農家への農地集積を防ぎたいことと、委託者・受託者ともメリットがあるということです。

取組みにあたっては、離農希望者が中心となって集落内の意向調査から申請書類の作成等を行いました。最終的に平成24年3月の集落総会の場で、「人・農地プラン」に対する説明を行い、併せて原案（今後の地域の

ン」の作成への要望が浮上しました。今後は高齢化が進む中、後継者のいない農家が多くなることが予想され、また基盤整備が完了し農地集積がしやすくなることから協議の結果、プラン作成に取り組む事となりました。アンケート調査により農家の意向を把握するとともに各農家組合、自治会の代表と担い手農家からなる策定委員会を発足致しました。委員会を中心に今後の地域農業のあり方について検討を重ね、その結果五つの個人・法人を中心とする経営体に定めた米倉・大槻地域の「人・農地プラン」を作成致しました。

プラン作成にあたり中心的役割を担って来た策定委員の米倉自治会長、米倉上農家組合長の齋藤誠治さんにお伺い致しました。

最初は、地域ビジョン会議構

成メンバーを選び、そのうち集落説明会を開催、農業経営の意向調査を実施致しました。その後、何回かの会議を経て策定メンバーを選任、策定プランを立て、参加者全員に総会の案内状を送り、出席出来ない人は、出席者に委任して頂きました。この様な形で「人・農地プラン」の申請に至りました。ここまでは米倉地区に中心的経営体がありましたので、その方々に協力して頂きました。総会にのぞむまで会議メンバー・農家組合にじっくり討議していただいたのが印象に残ります。

終わりに米倉・大槻地域の「人・農地プラン」の中心となる5つの個人・法人を中心とする経営体は、循環型農業のモデル地域にも指定され、農業活動全般に率先して参加し農業施策に大きく関与し、さらに米倉・



下山田集落

中心となる経営体）を上程しました。今後も離農者の増加が予想され、必要により見直しが出るなど、特にデメリットがないことから満場一致で採択されたそうです。

申請にあたっては、まだ制度の内容自体が確定していない中でのスタートだった為、当初の予想以上に様々な苦勞があった

大槻地域の農業振興にご尽力いただけることと思っております。

（六井憲一委員）



圃場整備が完了し、有効利用が期待される。

委員視察研修報告(宮城県石巻市、名取市)

H24.11.21~22

去る、11月中旬に新発田市農業委員会は、宮城県石巻市を訪れました。その地を視察先とする事に委員全員がさまざまな思いを胸に足を踏み入れた事と思います。



宮城県石巻市

初日、高校で教鞭を取る傍らボランティアガイドとして私達のバスに同乗しながら震災の日の状況、被害の説明等、熱心にお話しをして下さった方は、「日野長介さん」と言う方で、ご自身も自宅一階が津波で浸水された方でした。

テレビ等のマスメディアを通して平面的な画像での印象でしかなかった私達は、その場に降り立ってその悲惨な現況に言葉を失いました。そこは震災前、何百という数の建物が建っていた住宅地であったようですが建物の基礎の部

分だけが残り地盤沈下により、まだ海水の残る荒地に姿を変えており、とても元の状態を想像する事など出来ない状況でありました。ガイドの日野さんのお話しを聞きながら、見る程に、聞く程に胸の奥が重くなっていくのを感じておりました。そんな私達の

心中をお察しされたのか、悟られたのか、日野さんは、「皆さんがこの地を訪れて、3月11日という日を忘れずにいてくださること。そしてこの現状を目に焼き付けて、地元へ帰っていただいて後世に語り次いでいただくこと。そ

れだけでいいんです。」とおっしゃいました。少しだけ胸の奥が軽くなった様な気がしたことを覚えております。

次の日、私達は津波で海水を被った宮城県名取市の農地を見学いたしました。「有限会社耕谷アグリサービス」という農業組織の代表、佐藤さんから説明をいただき、「海岸から5キロも離れているから俺達は大丈夫だと思っただが……」とのこと。震災のあった日から避難先にお米を送る為、昼夜問わず自社の倉庫の米の全部を精米し続けたそうです。こんな状況ですから米の代金をいただけることはないことも承知の上の行動であったそうです。

少し落ち着いてから自社の被害状況を調べたところ、頭

の中が真白になりしばらくの間、動けなかったそうです。ときおり言葉を詰まらせながら説明をしてくださる姿に委員も目頭らを熱くしながら聞き入っております。

その後、従業員の将来の為、会社を継続することを決断し、比較的塩害に強い「綿花」の栽培に着目し、稲・大豆を中心にさまざまな作物を栽培しながら、水田の除塩作業を行っていました。

のリーダー的存在を感じました。

災害から2年が過ぎようとしている中、まだまだ手付かずの現況が数多く点在していましたが、一日でも早く普通の生活が取戻せますようにお祈り申し上げます。平々凡々と日々の生活おくる事の出来るありがたさを痛感した視察になりました。

(曾我崇委員)



宮城県名取市(有)耕谷アグリサービスにて
代表 佐藤氏(中央手前)

うぶやち

「還暦」

還暦とは、数え年で61才、十二支が60年で一巡、61年目に生まれた年の干支に還り、そこでまた生まれ直すという意味を込めています。赤いちゃんちゃんこは、赤ちゃんに還るといふ意味と赤は魔除けの色とされていたためです。簡単に言えば3回目の成人式です。有名な織田信長の「人生50年、下天のうちを比べれば……」にあるように自分が生まれた干支と同じ年まで生きることが、昔は大変めでたく、名譽なことでありました。

今、日本人の平均寿命は、男性79才、女性は86才と発表されています。前者の信長が曰く「夢うつつ……」信じられないことでしょうか。日本の男女の長寿の秘訣は、ある時期より疫病、対外抗争が無くなり、また医療技術の進歩、個々の健康管理など、色々なことが要因と考えられます。

はたして、人間はいつまで幸せなんでしょうか？長寿社会で100才になっても、シヤンとしている人も大勢います。少子高齢化、核家族化等に伴い社会構造の変化によって、交通事故死よりも多い自殺者等、明日の事を考えてもキリがありませんが、と云って考えないわけにはいかないのが現実です。

凡人である私は、ひよっとするともう一回成人式を向かえる事が出来るかも知れません。それを楽しみにゆつくりと妻と余生を過ごしたいものです。今は昔の物語でした。

(石井辰彦委員)

農業委員会各部会の活動状況

農地調整部会

今年度の農業委員会農地調整部会活動も例年同様に、遊休農地（耕作放棄地）の解消と違反転用の防止への取組みを基本方針としました。いずれも難題で、なかなか有効策の見出せないのが現状です。

「農地パトロール」や「現地視察」等農業委員全体で実施し、現況把握に努めてました。

中山間地での猿害と平場地においても有効作物の選定等の課題もあり、また依然として求められる米の生産調整下では、なおさら解決の難題さを痛感しております。

しかし、今後とも国民の命の元である農地の有効活用がさらに重要となることと認識を深め、皆々様方のお知恵を拝借しつつ、解決策を模索して参りたいと願っております。

（部会長 齋藤啓一委員）



猿害対策等、遊休農地活用
(ミニシク栽培)川東地区

農政推進部会

TPP問題等農業・農村を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

この現状下で、「新発田地域農業のあり方、地域における政策」を基本に担い手農業者、行政、農協関係団体との連携した活動を重点に、以下の事業を行ってまいります。

○委員の研修及び視察研修の企画、立案
「人・農地プラン」について行政担当を招き講習していただきました。また、11月には仙台・石巻方面へ一泊で県外視察研修を行い、被災状況や力強く復興された農業生産法人を視察させていただきました。感動し逆に励まされました。

○農業者等（担い手）との懇談会の開催
3回目となる今回は未来の農業に夢を燃やす青年農業士との意見交換会を計画しました。熱い刺激を受けたいと思います。

○農業者年金加入推進及び研修会の開催
良い年金制度を一人でも多く理解し、加入を勧めたいと思います。

また、加入推進にあたり県農業会議より担当者を招き年金制度の研修会を実施しております。

（部会長 鹿島芳夫委員）

情報活動部会

広報「さわやか」を10人の部会委員で協力しながら編集作業に取り組んでいます。担当部門を決め、直接現場の聞き取りや市内、各地域の話題性のあるものを記事にまとめ、年2回（2月号、8月号）発行しています。

特集として最新の農業情勢や市内の頑張っておられる農業者等を紹介させていただいております。

今年、「人・農地プラン」の制度の内容を市の担当者からお聞きし、素朴な疑問Q&Aと題し皆さんに解りやすいようお知らせさせていきます。

今回は、その制度に取り組んでいる集落等を紹介し、これから取り組む方々の参考になるのではないかと考えています。他に全国農業新聞の普及活動として、購読推進にも積極的に携わっています。また、年3〜4回記事の投稿があり、新発田市の様子を紹介しています。

「さわやか」も今年で30回目の発行で歴史のある広報紙となりました。広報紙のプロ!?になるため、新潟市で開催された編集研修会に参加し、部会委員一同先輩に負けじと、より良い物を作ろうと張り切っています。ぜひとも多くの方々に読んでいただければ幸いです。

（部会長 五十嵐隆夫委員）



広報のプロ!?になるための研修会(新潟市)

待ってうれしい花いちもんめ

「四季の歌」春せん」

先般、民放のローカル局開局45周年記念コンサートを隣町に聴きに行ってきました。

手作りコンサートで、テーマは「ふるさと新潟の童謡」でした。誰でも知っている歌、作詞家や作曲家など本県生まれや関係のある人の曲で、少年少女合唱隊、ママさんコーラス、市内の高校生の合唱部が参加していました。プロの出演は市内在住や本県生まれの声楽家の方で、メインはミリオンセラー「四季の歌」で知られる芹洋子さんでありました。

本人の自己紹介で、「交通事故に遭って記憶喪失になり、自分の持ち歌も失われてしまった。」ですから、「四季の歌も新曲なんですよ。」と話されていました。本人の努力と周囲の暖かい援助と協力で、ここまで立ち直った事は立派だと思いました。

ステージはロシア民謡、アメリカ民謡あり、春夏秋冬、花鳥風月、自然を題材とした叙情歌で聴衆を引きつけ、最後は「お正月」を全員で合唱し幕となりました。

帰りは芹さんのサイン会、私も色紙に「サイン」をもらってしっかり握手をしました。同世代のためか、まだまだ頑張ろうという、エールの交換、元気をやり取りしたような握手の気がしました。

（宮下要一 委員）

待ってうれしい花いちもんめ

平成25年度新発田市の農地賃借料情報

新発田市農業委員会 (単位:10a当)

区分 地区	1 データ数 (4,186) ※ 最多契約額 【25,000円】	2 データ数 (3,667) ※ 最多契約額 【20,000円】	3 データ数 (853) ※ 最多契約額 【15,000円】	4 データ数 (58) ※ 最多契約額 【9,000円】	畑 データ数 (97)
賃借料	最高契約額 【33,000円】 平均契約額 【23,746円】 最低契約額 【5,000円】	最高契約額 【25,500円】 平均契約額 【20,563円】 最低契約額 【5,000円】	最高契約額 【22,000円】 平均契約額 【16,246円】 最低契約額 【15,000円】	最高契約額 【15,000円】 平均契約額 【10,059円】 最低契約額 【9,000円】	
新発田	◎区画整備済地区 (30~100a) 区画	左記以外			最高契約額 【10,000円】 平均契約額 【6,969円】 最低契約額 【5,000円】 最多契約額 【5,000円】 ※畑の賃借料に ついては、新発 田市全域を対象 としたデータと なっております。 賃借料の参考と してください。
五十公野	◎圃場整備済地区	五十公野・金谷・ 下新保・古寺・上新保・ 山崎・江口・丑首・ 下内竹・小見・上内竹			
松浦	◎圃場整備済地区	◎圃場整備未済地区 六日町・八幡(浦・浦新 田)松岡・荒川 八幡新田	大崎・上中山・新荒川・ 田家		
米倉	◎圃場整備済地区		◎圃場整備未済地区 米倉・山内・大槻	中々山	
赤谷				全区域	
川東	◎圃場整備済地区	大友・敦賀・下羽津・ 南橋・上楠川・ 下楠川・石喜・東姫田・ 岡田・西姫田・下高関・ 上三光・下三光	本間新田・上羽津・虎丸・ 板山・小戸・宮古木	田貝・長峰	
菅谷	◎圃場整備済地区	◎圃場整備未済地区 北中江・麓・上中江・ 蔵光・下中江・中倉・ ノ切・上荒沢・満足・ 下中山・下寺内・ 小出・上寺内・菅谷・ 上石川・中川・ 下石川・滝・熊出	◎圃場整備未済地区 繁山・丸市・横山		
加治	◎圃場整備済地区	◎圃場整備未済地区			
佐々木	◎圃場整備済地区	◎圃場整備未済地区			
豊浦	◎圃場整備済地区	◎区画整備済地区 10~20a 区画全域	◎福島潟周辺並びに 山沿地区で圃場整備 未済地区		
紫雲寺	◎圃場整備済地区	◎圃場整備未済地区			
加治川	◎圃場整備済地区	◎圃場整備未済地区	◎山沿地区で圃場整 備未済地区		

◎新発田市全域において基盤整備事業の面工事完了ほ場を10a当り25,000円とし、賃借人、賃貸人の賃借料決定時の目安としてください。

※農地法の改正により標準小作料が廃止されたことに伴い、新発田市では上記のとおり賃借料の目安となる情報提供を行いますので参考にしてください。

※賃借料は、平成24年中に申請のあった賃貸借の実績データを基に算出しております。

まらごの紹介

今回は、紫雲寺地区南成田にお住まいの横野正人さんのお宅におじゃましました。
(担当 坂野井政之委員)

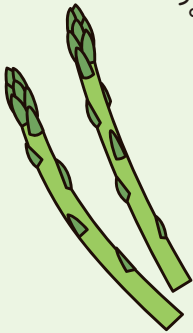


3代夫婦で複合営農がんばっています！

横野さんの家族構成は、経営主の正人さん（62才）、奥さんの越子さん（保育士）、長男の正之さん（36才）、長男の奥さんの恵美さん、孫の凌駕ちゃん、美桜ちゃん、父親の嘉衛門さん、母親のカツミさんの3夫婦、8人家族です。

正人さんの経営は、稲作680a、養豚（母豚43頭）、アスパラガス30a、アスパラガス株（販売）30aの複合営農を行っています。長男の正之さんは主にアスパラガス、水稻を担当しています。

「昨年の夏は猛暑であったが、土作りと水管理に気をつけて栽培したので全量1等で良かった。」と言っていました。今後は、規模を現状維持し、農政を注目しながら経営し、数年後は長男に経営移譲を考えているそうです。



編・集・後・記

今月号の特集に再度、「人・農地プラン」について掲載してみました。

今回の内容は、すでにプランを作成・決定された地区と、これから作成の意思表示をしている地区の加入に至るまでのプロセス（手順、過程）をお尋ねしてみました。

これからプランを作成する予定の地区の参考になれば幸いです。

この度のプランは、農地の出し手、受け手の両者に関しても有利なもので、今後このような施策はないものと思います。

この先、5年後、10年後の自分達の農業・農村のあり方を、これを契機に集落で十分協議してみたいかがでしょうか。

(藤間壽久委員)

INFORMATION

全国農業新聞購読料（3ヶ月分）の口座振替日をお知らせします。

1、2、3月分……平成25年5月10日

4、5、6月分……平成25年8月9日

* 現金納付の方は、口座振替日が納期限日となります。

全国農業新聞を読もう!!

週間 金曜日発行

月600円、年7,200円 (消費税込)

農地(田・畑)を農地以外に利用(転用)する場合は、許可申請が必要です!

農地(田・畑)を農地以外に利用(転用)する場合は、許可申請が必要です。農地の転用許可申請は、県許可であるため、許可なく農地以外に利用(転用)されている時は、農地法違反であるため場合によっては現況復帰命令を受けることがあります。農地(田・畑)を農地以外に利用(転用)する場合は、必ず農業委員会を通して県に許可申請を行ってください。